

# 令和3年度下半期水道事業 業務状況説明書

## 1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設、老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、1,322,259,706円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における配水管布設工事を行い、口径75～500mmの配水管を6,533m布設しました。

改良事業では、4,229,166,273円を投じ、老朽铸铁管等の更新工事として、口径75～600mmの配水管等を14,206m布設しました。

また、令和2年度から令和3年度の2カ年継続事業である新郷浄水場急速ろ過設備更新工事、横曽根浄水場自家発電設備等更新工事及び神根浄水場配水ポンプ制御盤更新工事、令和3年度から令和4年度の2カ年継続事業である神根浄水場自家発電設備更新工事のほか、鳩ヶ谷浄水場7号井掘替工事、神根浄水場3号井ポンプ更新工事、上青木浄水場A・B系水質モニター装置更新工事、上青木浄水場次亜注入設備更新工事、上青木浄水場B系配水流量計更新工事、東川口加圧ポンプ更新工事等を実施しました。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### （1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は13,177,620,758円で、予算現額13,121,854,000円に対し執行率100.4%、受託工事収益は74,004,554円で、予算現額103,943,000円に対し執行率71.2%、水道利用加入金は539,561,000円で、予算現額589,688,000円に対し執行率91.5%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、他会計補助金等を加えた収入総額は14,543,649,257円で、予算現額14,607,082,000円に対し99.6%の執行率となりました。

一方、収益的支出の決算額は11,371,184,312円で、予算現額12,234,578,000円に対し92.9%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用10,857,260,648円、企業債の支払利息等390,464,051円、特別損失10,930,609円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は3,172,464,945円となりました。

### （2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債1,700,000,000円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、一般会計負担金を加えた決算額は1,813,062,272円となり、予算現額1,841,231,000円に対し98.5%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は7,317,264,405円で、予算現額7,940,789,000円に対し92.1%の執行率となりました。内訳は、建設改良費5,580,836,011円、企業債償還金1,736,428,394円となっています。

## 3 給水状況

本年度末日の給水人口は605,063人で、前年度に比べ2,683人（0.4%）減、給水世帯数は296,538世帯で、前年度に比べ1,050世帯（0.4%）増となっています。

年間総配水量は64,376,825<sup>m</sup><sup>3</sup>で、前年度に比べ1,206,589<sup>m</sup><sup>3</sup>（1.8%）の減となり、有収水量は58,495,024<sup>m</sup><sup>3</sup>、有収率は90.86%となっています。

## 収益的収入及び支出

### 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
給水収益	13,121,854,000	13,177,620,758	55,766,758	100.4
受託工事収益	103,943,000	74,004,554	△ 29,938,446	71.2
水道利用加入金	589,688,000	539,561,000	△ 50,127,000	91.5
その他営業収益	440,920,000	424,615,557	△ 16,304,443	96.3
受取利息	407,000	186,544	△ 220,456	45.8
長期前受金戻入	245,372,000	245,977,381	605,381	100.2
雑収益	28,174,000	42,688,878	14,514,878	151.5
他会計補助金	76,723,000	37,875,204	△ 38,847,796	49.4
固定資産売却益	0	103,455	103,455	—
過年度損益修正益	1,000	484,751	483,751	48475.1
その他特別利益	0	531,175	531,175	—
計	14,607,082,000	14,543,649,257	△ 63,432,743	99.6

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
原水及び浄水費	4,656,083,000	4,519,281,923	136,801,077	97.1
配水及び給水費	2,505,019,000	2,045,927,996	459,091,004	81.7
受託工事費	158,920,000	124,892,167	34,027,833	78.6
業務費	1,042,867,000	1,005,841,825	37,025,175	96.4
総係費	402,393,000	312,622,646	89,770,354	77.7
減価償却費	2,824,157,000	2,810,341,808	13,815,192	99.5
資産減耗費	59,013,000	38,352,283	20,660,717	65.0
支払利息	404,155,000	390,464,051	13,690,949	96.6
消費税及び地方消費税	139,741,000	109,562,700	30,178,300	78.4
雑支出	3,406,000	2,966,304	439,696	87.1
過年度損益修正損	8,779,000	10,930,609	△ 2,151,609	124.5
固定資産売却損	45,000	0	45,000	—
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.0
計	12,234,578,000	11,371,184,312	863,393,688	92.9

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 資本的収入及び支出一覧

### 1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	1,700,000,000	1,700,000,000	0	100.0
固定資産売却代金	10,000	60,005	50,005	600.1
受託工事収入	80,519,000	56,966,000	△ 23,553,000	70.7
負担金	60,702,000	56,036,267	△ 4,665,733	92.3
計	1,841,231,000	1,813,062,272	△ 28,168,728	98.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	6,204,360,000	5,580,836,011	623,523,989	90.0
企業債償還金	1,736,429,000	1,736,428,394	606	100.0
計	7,940,789,000	7,317,264,405	623,524,595	92.1

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 給水の状況

区 分	令和3年度	令和2年度 A	差 引 B (3年度-2年度)	増 減 率 B/A (%)
給水人口 (人)	605,063	607,746	△ 2,683	△ 0.4
給水世帯数 (世帯)	296,538	295,488	1,050	0.4
総配水量 (m <sup>3</sup> )	64,376,825	65,583,414	△ 1,206,589	△ 1.8
1日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	176,375	179,681	△ 3,306	△ 1.8

# 地方債現在高

令和4年3月31日現在

## 1 地方債

借入先	水道会計
財政融資資金	千円 24,341,625
地方公共団体金融機構	4,661,876
合計	29,003,501

## 令和4年度水道事業 予算概要

### 1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和4年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

### 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

#### （1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は14,745,852千円で、前年度に比べ137,820千円（0.9%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、水道利用加入金、その他営業収益、他会計補助金の増によるものです。

収益的支出の合計額は12,666,831千円で、前年度に比べ431,303千円（3.5%）の増となっています。増額の主な理由は、委託料、工事費、減価償却費の増によるものです。

#### （2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は1,923,677千円で、内訳は、企業債1,750,000千円、受託工事収入94,697千円、一般会計負担金76,797千円、県補助金2,183千円となっています。

資本的支出の合計額は7,837,169千円で、内訳は、建設改良費6,080,789千円、企業債償還金1,756,380千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,913,492千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額505,805千円、減債積立金1,750,000千円、過年度分損益勘定留保資金1,038,016千円、当年度分損益勘定留保資金2,619,671千円で補てんします。

### 3 給水状況

令和4年度の総配水量は64,877,000 m<sup>3</sup>で、このうち、県営水道からの受水量は57,212,000 m<sup>3</sup>、深井戸からの取水量は7,665,000 m<sup>3</sup>を見込んでいます。

有収水量は59,322,000 m<sup>3</sup>、予定有収率は91.44%を見込んでいます。